

利用に関する “3つのお願い” ～一般研修「利用のてびき」；記載内容の関連事項～

1 **研修の目的を明確に持つ。** ～次の3項目が不可欠です。～ <裏面に参考例掲載>

(1) 安全で安心感のある生活に向けて気を付けること

＝危険な「事や場所」を伝え、安全・安心の中で生活させる。＝

青年の家での生活は
大切な研修の一つです。

(2) 集団生活で学ばせたいこと・身に付けさせたいこと

＝生活リズム（標準時間）と生活信条（秩序・友情・実践）を意識させる。＝

(3) 団体としての活動で、身に付けさせたいこと・・・(3)項の内容だけでは不十分！

＝個人技能、集団技能及びチームワーク等の向上など＝

2 **大人がルールを守る姿を見せる。**

(1) 入所時間（9：00～15：00）、退所時間（9：00～16：00）を厳守する。

＝「オリエンテーション」終了後に利用開始。敷地からの退去完了が16：00。＝

（利用開始とは、研修施設に入って行う団体の行為全般〈準備を含む。〉をいう。）

(2) 利用者以外は、立ち入らない。

＝提出した利用者名簿に記載されたメンバー（指導者・引率者を含む。）が研修生＝

(3) 研修生（利用者名簿にある全ての人）も、自由な出入りはしない。

＝団体としての行動以外は、出るときと戻るときに、事務室に報告する。＝

(4) 送迎を含め、利用者以外の車両は敷地内に進入しない。

＝送迎は、敷地外で行う。＝<駐車許可証は利用者に発行するもの>

(5) 敷地内に、飲食物を持ち込まない。（初日の弁当は、**要**相談）

＝飲酒は、“しない！！”＝<青年の家での交流は、研修生全員で取り組むもの>

3 「来た時よりも美しく」を实践させる。（するのは研修生全員、指示・確認は指導者）

(1) 宿泊室を含め、自分の使った場所やものを元通りにする。

＝復元・清掃の仕方を丁寧に（細かく分かりやすく）指導する。＝

(2) 役割分担することにより、清掃・片付けを全員が行う。

＝大人が手早く済ませるのは、青少年の健全な育成にはつながらない。＝

(3) 清掃を分担されていない場所（例えば、通った場所・グラウンド等）も、きれいにする。

＝団体責任者（指導者）は、何もしない研修生がいないよう、全員に仕事を割り振る。＝

研修生の人数が多い（担当場所が少ない）場合、団体責任者（指導者）の判断で、
研修生全員が活動できるように清掃担当場所を割り当てる（指示する）。

(4) 持ち込んだ物品から出たごみは、全て持ち帰る（ごみ置場に置かない、捨てない）。

＝利用者は、「来た時よりも美しく」に反する行為は行わない。＝

研修とは…「研鑽（けんさん）」及び「修養（しゅうよう）」を行うこと

研鑽（鑽）；自分自身のスキルや能力などを鍛えて磨きをかけること。

また、学問や研究等を深く究めること。

修養；知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成につとめること。

以下は、各学校が作成した“しおり”に載せている、「海事研修に参加する目的」の例です。

各学校では、この目的達成に向けて具体的な研修日程を作成し、事前指導を行います。

< 研修目的 参考例1 >

《めあて》

◎カッター研修・地引き網研修等を通して、海に親しみ、海の知識を広める。

《生活信条》

秩序・友情・実践

- 努力目標
- 1 だまって、速くならぶ。
 - 2 目で聞き、からだで考える。
 - 3 放送は止まって、静かに聞く。

< 研修目的 参考例2 >

1 めあて

- (1) みんなと寝食を共にする生活の中で、きまり正しく行動したり、協力したりすることの大切さを実際の活動を通して学習するとともに、お互いの友情を深める。
- (2) 海に親しみ、海事・水産について学習する。
- (3) 自分の力を出し切るまでがんばることにより、心や体をきたえる。

< 研修目的 参考例3 >

みんなの力で

いよいよ待ちに待った海の学習が近づいてきました。海の学習はたいへん楽しい校外学習です。カッターや地引き網などのプログラムを通して、力を合わせることの重要性や友だちを思いやることの大切さを学ぶことを目的としています。先生や大勢の友だちと一緒に生活したり、体験活動を行ったりすることを通して、自分の心を今より豊かなものにしましょう。そして、渋川青年の家の約束やきまりを守って、楽しい研修にしましょう。

おうちの人たちは、みなさんのことを心配し、帰りを待ちわびています。感謝の気持ちを忘れず、研修から帰ったら、しっかり「ただいま！」と言えるよう、充実した海の学習にしましょう。

秩序・友情・実践

< 海の学習のめあて >

- ① 海についての知識を広め、関心を深めよう。
- ② 宿泊を通して、友情を育て協力する態度を身につけよう。
- ③ 自分の行動に責任を持ち、規律正しい生活を身につけよう。
- ④ 自分のめあてを立てよう。